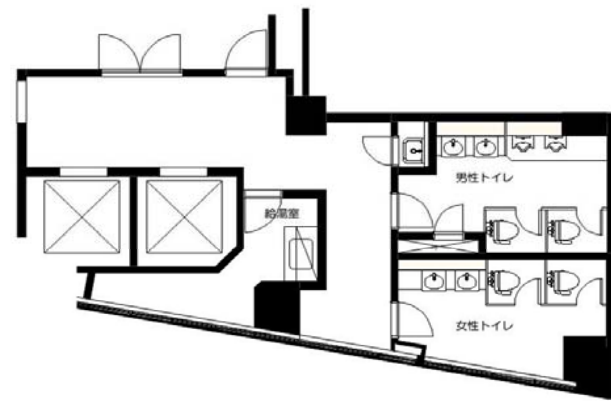


外観



東京都品川区の山手線五反田駅近くに位置するオフィスビル。(地上8F)

5~8F男女トイレ平面図 (改修前)



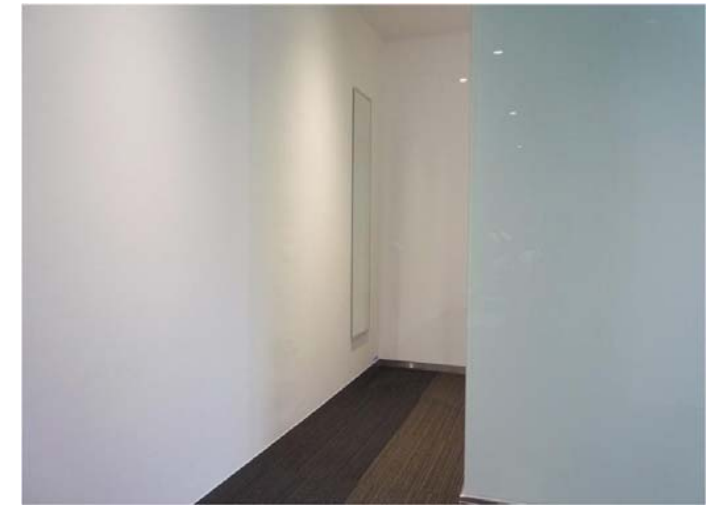
男女トイレだけでなく、EVホール及び前室、給湯室までを含めた一体的な改修を計画。

給湯室前通路



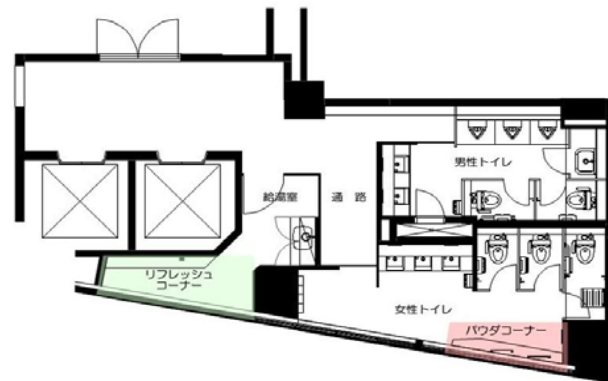
シートをサンドイッチしたガラス製のパーティションにより、透過性をコントロールしつつ、ガラスの透明感による意匠性と両立している。

男性トイレ 入り口



女性トイレだけでなく、男性トイレの入り口脇にも姿見を設置。

5~8F男女トイレ平面図 (改修後)



隔壁位置を変更し、女性トイレを増床すると共に、給湯室横にリフレッシュコーナーを新設。

EVホール



タイルカーペットのデザイン貼りにより、執務スペースへの流れを演出。EV扉・枠は色調をコーディネートしたシート貼りとしている。

男性トイレ 洗面コーナー



物置空間に配慮し、上部が水ぬれしにくいツインデッキカウンターを採用。

男性トイレ 洗面コーナー



洗面部の壁面は、大理石のモザイク貼りを採用。意匠性を高めている。

給湯室・男女トイレ前通路



ガラス素材のパーティションによりミニマムな構成の動線としている。

男女トイレ前通路



目的とする各スペースまで、EVホールから連続したデザインのタイルカーペットを採用。一体感のあるデザインとした。

男性トイレ 小便器コーナー



器具数を増やすことで、サービス性を向上。同時に手すりの設置と奥行きのあるライニングを採用し、使い勝手にも配慮している。

男性トイレ 大便器ブース



L型手すりを設置したブースを設けると共に、自動フラッシュバルブを選定し、使いやすさと節水性の両立を図っている。

男性トイレ SKブース



共用部からの視線を考慮し、男性トイレ内のデッドスペースを有効利用してSKブースを移設。

女性トイレ 入り口



入り口前方からの明るさにより、通路部分の照明器具数を最低限に削減、節電に配慮した。

給湯室 入り口



出入り口扉も枠の無い強化ガラス製とし、動線をコントロールするための壁面の連続性を重視している。

給湯室 入り口



流し台にも、トイレ内の洗面部フロントパネル、及びライニング前面板と同様のアクセントカラーを採用し、統一感のある色彩計画とした。

女性トイレ 洗面コーナー



男女トイレともに、洗面コーナーにはクリーンドライを設置。非接触操作により、快適性と使い勝手を高めている。

女性トイレ 大便器ブース



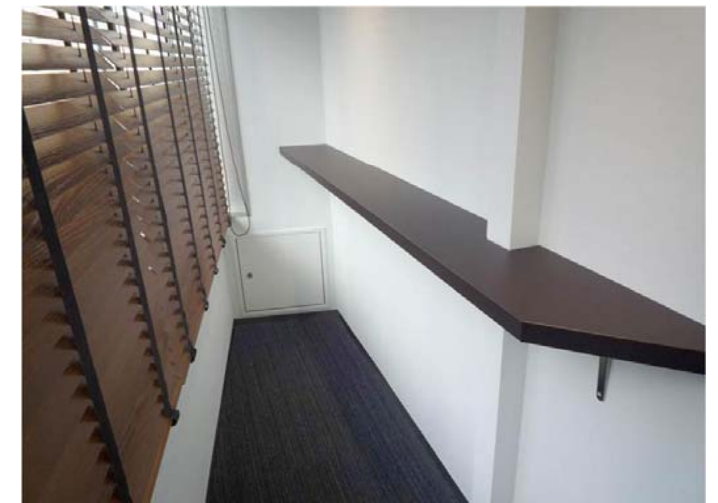
女性トイレの増床により、ブース数を増加。フィッティングボードを設置した大型ブースも設けている。

給湯室 流し台コーナー



給湯室の内部からも人の動きが見えるよう、ガラス製パーティション周りのレイアウトを工夫している。

リフレッシュコーナー



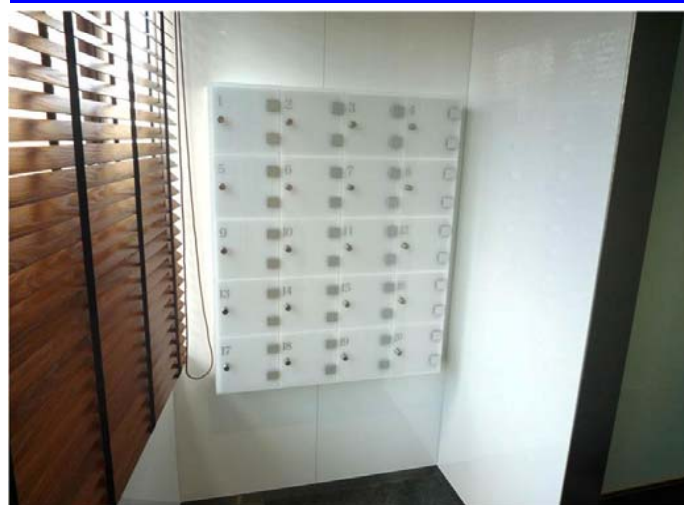
給湯室奥の窓に面した明るいゾーンはリフレッシュコーナーを新設。執務空間への付加価値要素として、小スペースの新たな使い方を提案した。

女性トイレ パウダーコーナー



窓際にパウダーコーナーと姿見を設置し、利用目的に合わせたゾーニングを計画。

女性トイレ 小物入れコーナー



女性配慮の一環として、トイレ入り口脇に小物入れを設置し、動線上の工夫を行った。

建築概要

名称	ヒューリック五反田ビル 5～8Fトイレ改修
所在地	東京都品川区五反田1丁目27番2号
施主	ヒューリック株式会社
設計	TOTOエンジニアリング株式会社 設計部
施工	TOTOエンジニアリング株式会社 東京支店
竣工年月	(改修)2012年6月

水まわりの特長

<改修の経緯>
 賃貸オフィスビルのテナント退去に伴い、物件の質、サービスの向上を目的とした『戦略的物件』として改修を計画。男女トイレだけでなく、共有部分までを包括的な対象とした。

<トイレの特長>
 サービスレベルを向上するため、既存の男女トイレの仕切り壁位置を見直し、器具数の増設、パウダーコーナーの確保、大便器ブース内へのフィッティングボードの設置等、女性配慮をコアとした平面計画を策定。シートをサンドイッチしたガラス素材の壁面をデザインモチーフとして、光の透過性と反射をコントロールし、共有部の通路からの意匠的な連続性とトイレエリアの識別の両立を図っている。また、視線配慮を検証しドレス化する事で、スムーズな動線を実現、近代的なレイアウトとした。

<改修の経緯>
 交通機関からの距離等、立地条件の良さも重なり、テナント入居も順調に進んでいる。入居者からの評判も良く、コンセプトである付加価値の向上に寄与している。